

日々悩みながら子育てをしているお母さん方へ

大阪市は、新生児訪問を大阪府助産師会に委託しています。
以下の内容は、生野区を担当している助産師※の皆さんが
訪問時にお母さん方から聞かせていただいた声です。

※助産師…出産の介護のほか、妊娠期や出産後のお母さんの健康指導・乳房ケア、新生児のケアなども担う専門職です。

- ・赤ちゃんが一日中起きていて、睡眠不足になっていないか心配。
- ・赤ちゃんが、起こさなければずっと寝ている。
- ・赤ちゃんが息をしているか心配で眠れない。
- ・泣いては授乳しているので一睡もできない。
- ・布団に寝かしたら起きるので四六時中抱っこしている。
- ・日中に眠って夜に活動し昼夜逆転している。
- ・どうして泣いているのか分からない。
- ・おっぱいを離してくれないので1時間以上授乳している。
- ・赤ちゃんがおっぱいを上手に吸えない。
- ・おっぱいの途中でむせてしまう。
- ・おっぱいを嫌がり、背中をのけ反る。
- ・一回のミルクを飲む時間が30分以上かかる。
- ・乳首が切れたり傷ができています。
- ・吐き戻しが多い。
- ・赤ちゃんが泣いているのはおっぱいが足りてないからだと言われ辛い。
- ・おっぱいが張らなくなり出ているか心配。
- ・うんちが自力で出せない。3日間以上出ない時もある。
- ・湿疹がひどい。
- ・しゃっくりが多い。
- ・手の爪で顔に傷をつくったり、自分の髪の毛を引っ張り痛そうで心配。
- ・向き癖があり頭や耳が変形している。
- ・寄り目になったり視点が合わないことがある。
- ・抱っこしたら赤ちゃんが体をつっぱる。
- ・上の子が赤ちゃんをたたく。
- ・上の子が赤ちゃんにおっぱいをしたら怒る。
- ・自分で予防接種のスケジュールを立てることができない。
- ・コロナの影響で妊産婦教室などに行けず育児方法が分からない。
- ・コロナの影響で里帰りや両親に来てもらうことができず支援者がいない。
- ・コロナの影響で妊産婦の交流ができずママ友達がいない。
- ・赤ちゃんの泣き声で苦情がこないか心配。
- ・思い通りにいかなかったり寝不足などで赤ちゃんにイライラしたり腹が立つ。
- ・急に不安になったり悲しくなり、涙が止まらないことがある。
- ・ささいな言葉で傷ついたりイライラして感情のコントロールができない。



この紙面で紹介しきれなかった
お母さん方の声を区のブログで紹介しています。
ぜひご覧ください。



私たち助産師は、一人で悩みながら育児をされているお母さんをたくさん見てきました。
私たちが訪問させていただいた際には、悩んでいること、気になっていること、そんな心の内を聞かせていただきたいと思います。
こんなこと聞いていいのかな?などと思わず、ささいなことでも話してください。赤ちゃんのこと、お母さん自身のこと、どんなことでもかまいません。
話していただくことで、少しでも心が軽くなり、お母さんが楽しく子育てができるお手伝いをしたいと思っています。



写真は、生野区で長年、助産師として活動している清輔さん(左)。

※大阪府助産師会に所属している生野区内の助産師の方々は、生野区役所で開催される子育て応援事業「いくのっこ広場」などで、育児相談などのボランティア活動にも参加していただいています。

新生児訪問以外にも、気軽にご相談いただけるところがあります。(無料)

区保健福祉センター
(保健師・保育士等)
☎06-6715-9968・9024
平日9:00~17:30

こころの悩み電話相談
(精神保健福祉士等)
☎06-6923-0936
平日9:00~17:30

大阪府助産師会の電話相談
(助産師)
☎06-6775-8894
平日9:00~17:30

大阪市児童虐待ホットライン
虐待の通報だけでなく、お母さんからの
育児の悩み相談などもお受けしています。
☎0120-01-7285 24時間365日

援助者のいない方向けの制度 有料

「産後ケア」…退院後に体調不良や育児不安がある場合、
産科医療機関や助産所で母子のケアが受けられます。(1歳まで)
「エンゼルサポーター」…食事やそうじなど家事の手伝いをする
ヘルパーを派遣します。(生後4か月まで)

どなたでも利用できる制度 有料

「ファミリー・サポート・センター事業」
赤ちゃんのお世話で大変なとき、上の子の送迎を依頼したり、
外出時に赤ちゃんを預けたりできます。
(おおむね生後3か月~10歳未満)

問合せ

区保健福祉センター(保健福祉課内)
2階23番
☎06-6715-9920
FAX06-6712-0652

